

2011. 9. 19



NPOフォーラム・だより No.43

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://ameblo.jp/awabunka1>

NPO運営に関するご報告とお願い

東日本大震災と原発問題により、被災地の皆様はもとより社会全体が不安定な状況が続いておりますが、会員の皆様におかれましては健やかにお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。この二次的影響により、館山・南房総エリアの観光も大きな打撃を被っていると聞きますが、私たちのNPO活動においても同様に、主たる収入源であるツアーガイドが激減しております。例年来房していた学校単位の平和学習も、海沿いであることのリスクによりキャンセルが相次ぎ、NPO財政が困難な状況にあることをご報告しなければなりません。会員の皆様にはこの実情をご理解いただき、なお一層、運営を支えていただきたくお願い申し上げます。

ぜひ、皆様のお知り合いの団体や学校、公民館などに働きかけ、平和学習やまちづくり研修をはじめ、里見氏史跡めぐり、青木繁《海の幸》ゆかりの漁村めぐりなどのガイドツアーなどの誘致にお力添えをいただけないでしょうか。また会費未納の方はご入金をお願い申し上げます。さらに、金額の多少にかかわらずカンパご献金を賜り、NPO活動をご支援いただければ、なお幸いに存じます。今ある文化遺産を保存し活用する取組みは、市民の生涯学習をまちづくりに活かし、人びとの生きがいや雇用の創出につなげたいと試みる少子高齢化社会の公益活動です。そのなかで、安定運営につながるコミュニティビジネスの可能性など、皆様のアイデアやご助言もお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。 代表 愛沢伸雄

第17回安房地域母親大会～安全・安心のコミュニティづくり

◎ 9月25日(日) 13:30～16:30 館山市コミュニティセンター第一集会室 参加費無料

オープニング 郷土の音楽物語「花とふるさと」より合唱

第一部 講演 「克災のまちづくりと創年の市民活動」

・福留 強 (聖徳大学名誉教授/NPO全国生涯学習まちづくり協会理事長)

第二部 活動紹介 私のチャレンジ

・幸田 右子 (幸田旅館女将・館山市旅館組合女性部長)

・樺原 八千代 (和田浦くじら食文化研究会おかみさんの会代表・鯨料理ぴーまん)

・笠井 美智子 (あわコットクラブ・房州舩 主宰)

・コーディネーター:池田 恵美子 (NPO安房文化遺産フォーラム事務局長)

克災まちづくり学習会～被災地支援の医師が見た安房地域の課題

◎ 10月26日(水) 18:30～20:30 館山市コミュニティセンター第一集会室 資料代:300円

講師:小野沢 滋 (亀田総合病院医師・安房医療介護福祉連携東日本大震災支援の会代表幹事)

多大な犠牲を伴った未曾有の大震災を教訓として、私たちは何を学ぶことができるのでしょうか。震災以降、石巻市で長期にわたり医療支援を実践し続けている小野沢医師は、避難所や行政との関わりの中から見えてきた課題の数々は、安房の災害対策のヒントになると提言されています。一緒に考えましょう。

知恵袋講座

…13:30～小高記念館 参加費 200円 NPOメンバーが語る楽しい茶話会です!

◎ 9月27日(火) 語り手: 関 和美 「わたしの仕事～亀田総合病院の図書館司書」

安房南高校で愛沢先生の教え子です。NPOの戦跡ガイドになって4年。どんな仕事をしているの?とよく聞かれますが、この仕事に就いて11年目。医療業界の裏事情?に詳しくなりました。

◎ 10月25日(火) 語り手: 行貝 治雄 「万石騒動・安房三義民 300年祭をふりかえって」

武力によらず勝利を収めた農民一揆は全国でも珍しい事例といわれています。また、民衆のために犠牲となった三人の名主の命日供養祭は地元住民によって毎年続けられ、昨年 300年祭を迎えました。

◎ 11月22日(火) 語り手: 前川 鎮雄 「第10回日中韓青少年歴史体験キャンプ 2011in 韓国仁川」

昨夏、南房総と館山を舞台に開かれた第10回キャンプに続き、今夏は韓国仁川で第11回キャンプが開催され、前川さんは2年連続でスタッフとして参加し、貢献されました。参加した若者の討論や成長の様子を伺いましょう。

日本のうたごえ祭典 in ちば 2011 ～郷土の音楽物語「花とふるさと」コンサート

◎ 11月18日(金) 18:45～ 市川市文化会館大ホール A席 4,000円 B席 3,500円 (当日は500円増)

花とふるさと合唱団安房も参加し、総勢 200名の大コーラスです。問合せ:実行委員会 047-422-4262

大音楽祭 19日(土) 16:30～ 千葉ポートアリーナ 一般 3,500円

■ 戦跡ガイド勉強会～大房岬フィールドワーク

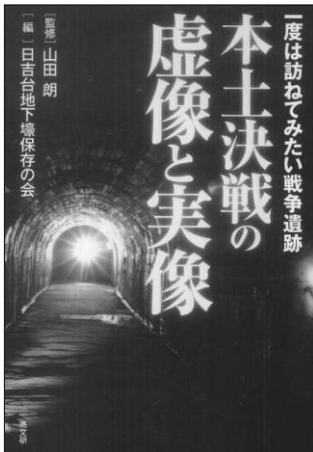
◎ 10月6日(木)10:00～12:00 大房岬公園駐車場集合

千葉県立自然公園の大房岬は、館山湾の北側で、東京湾に突き出た東京湾要塞の拠点として、砲台跡、弾薬庫、観測所、発電所、探照灯(サーチライト)格納庫など、重要な戦争遺跡は南房総市指定文化財です。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

* スタッフ募集中! ガイド見習いも大歓迎。

- 9月19日(月)10:00～12:00 赤山地下壕ガイドサービス(個人・小グループ向け)
- 9月27日(火)10:00～15:30 木更津市西清川公民館 40名(里見コース:館山市博・杖珠院・稲村城跡)
- 9月29日(木)11:10～18:00 日中学院憲法9条の会 13名(座学・赤山・かきた・日中友好の碑・四面石塔)
- 9月30日(金)10:00～終日 慶應大学名誉教授・白井厚氏 4名(戦跡)
- 10月2日(日)10:00～12:00 赤山地下壕ガイドサービス(個人・小グループ向け)
- 10月9日(日)10:00～12:00 青木繁《海の幸》ウォーキング(布良)
- 10月11日(火)10:30～16:30 高牟礼会:在京久留米出身者 40名(布良・安房神社・円光寺)
- 10月13日(木)10:00～15:30 木更津市生涯学習課 20名(戦跡基本)
- 10月14日(金)9:30～16:00 渋谷幕張学園中学 85名(座学・戦跡コース/里見コース/水産コース)
- 10月19日(水)14:00～15:45 千葉市立泉谷小学校 6年 104名(大房岬戦跡)
- 10月20日(木)9:30～11:30 わせがく高校 170名(戦跡基本)
- 10月21日(金)10:30～16:30 NPO法人青木繁「海の幸」会・画家 40名(布良)
- 10月22日(土)14:00～16:00 青木繁《海の幸》ウォーキング/館山美術会/スケッチツアー
- 10月30日(日)10:00～15:30 栄和トラベル 14名(戦跡基本)
- 10月30日(日)10:00～15:00 住友生命 OB10名(布良・赤山)
- 11月16日(水)9:30～12:00 トスラブ館山 健康セミナーウォーキング(赤山・掩体壕～城山)



『一度は訪ねてみたい戦争遺跡 本土決戦の虚像と実像』

監修:山田朗(英治大学教授) 編:日吉台地下壕保存の会 発行:高文研

本土決戦にそなえ、国民を根こそぎ動員して造られた壕や要塞。慶應大学キャンパスの地下に掘られた「連合艦隊」最後の司令部壕はじめ、今も残る戦争の重要遺跡を各地の研究者が紹介します。戦跡ガイド必携の案内ブック。

1. “本土決戦”とは何であったのか
2. 房総半島南部における本土決戦体制 … 執筆＝愛沢伸雄(NPOフォーラム)
3. 本土決戦に向けた海軍連合艦隊(海軍総隊)地下壕と三浦半島
4. 陸軍登戸研究所と謀略戦
5. 国体護持に備えた松代大本営
6. 人間の戦争遺跡・上原良司の思索

⇒ NPOフォーラムにて販売中! 価格 1,500円+税

新刊本

■ 群馬県高崎市で講演会「里見氏ゆかりの三都物語」

…問合:「里見の郷」実行委員会 090-4525-6086

◎ 9月24日(土)12:00～16:00 高崎市榛名文化会館エコール 講師:愛沢伸雄/滝川恒昭 資料代 300円

里見氏発祥の高崎市にて、館山市と終焉の地・鳥取県倉吉市の交流事業、「里見の郷」歴史フォーラム。

■ 青木繁《海の幸》ウォーキング

青木繁が滞在した小谷家住宅や《海の幸》記念碑をはじめ、ゆかりの地をめぐる足跡をたずねましょう。

◎ 10月9日(日)10:00～12:00 / 10月22日(土)14:00～16:00 / 11月13日(日)10:00～12:00

参加費 500円(ウォーキングマップつき) =要予約=

■ 描いてみんべえ《海の幸》模写絵画教室 (ジュニアもシニアも大歓迎!)

国の重要文化財の魅力再発見! 青木繁が布良出描いた《海の幸》をじっくり観察し、模写してみましよう。

◎ 11月13日(日)10:00～15:30 参加費無料 持物:画材・弁当 =要予約=

* 安房高OB・東洋大生の河辺智美さんが、ウガンダ AWA-MINAMI 洋裁学校を視察 *

NPO愛沢代表が旧安房南高校に在職時より、生徒会主催で始まった支援活動で設立されたウガンダの AWA-MINAMI 洋裁学校。安房南高の統廃合後は、安房高校JRC部と安房・平和のための美術展実行委員会が引き継いで、チャリティやバザー・募金によって支援を続けてきました。東洋大学国際地域学科在学中の河辺さんは、安房高校後輩の意義深い国際支援活動を知り、大学ゼミのウガンダ訪問に際し、AWA-MINAMI 校の現状を視察することになりました。これを機に、20年にわたる国際支援のあゆみを報告書としてまとめたいと願っています。とくに同校卒業生などの協力者を募集中。